

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

1 目指す姿と数値目標

企業理念

人と社会のつながりを、幸せのエネルギーに

連結経常利益
2,000億円以上

ROIC
3.2%以上

再生可能エネルギー
320万kW以上

2 中長期の経営戦略

1. 多様な電源構成の推進

再生可能エネルギー・原子力発電の活用と火力発電の脱炭素化を推進。JERAゼロエミッション2050のもと、水素・アンモニア追求

2. 浜岡原子力発電所の再稼働

安全確保を大前提に、3・4号機の新規制基準適合性確認審査を進め、地域理解を図りながら早期再稼働を目指す

3. 事業体制による強化

中部電力パワーグリッド・ミライズ・JERAの3事業会社を核に、中立性・公平性と市場競争力を両立させ強靱な企業グループへ

4. 新たなサービス創出

2025年4月設置の不動産事業本部を軸に、日本エスコン・中電不動産と連携。地域インフラ事業でパートナーと協力

3 対処すべき課題

① エネルギー安定供給の確保

- ・燃料価格・金利の上昇など投資環境の不透明性増加への対応
- ・再生可能エネルギー大量導入に伴う電力品質維持の技術課題
- ・自然変動電源の予測精度向上と広域的需給運用の拡大

② 脱炭素社会の実現

- ・GX・DXの進展に対応した電力需要増加への投資確保の仕組み整備
- ・分散・循環型システムと安全で安心な脱炭素社会の実現
- ・非効率石炭火力停廃止とゼロエミッション電源の追求

③ 事業構造変革と企業価値向上

- ・お客さまニーズを起点とした新ビジネスモデルへの変革
- ・地域課題解決による新たな収益源の獲得・拡大
- ・ESG・SDGs達成への貢献を通じた持続的成長

面接で使えるポイント

- ・2025年4月の企業理念改定「人と社会のつながりを、幸せのエネルギーに」のもと…
- ・浜岡原子力発電所3・4号機の新規制基準適合性審査進展と地域理解促進の両立による安全確保最優先の再稼働戦略
- ・2030年頃に再生可能エネルギー320万kW以上を目指しながら…

証券コード 9502

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）

－（推移を描ける期数の開示がありません）

暗記する数字3つ

連結売上高
3.55兆円営業利益率
6.5%財務健康度
32点 / 100点

将来性 曇り時々雨 / 就活偏差値 65.2（当サイト算出の参考指標）

平均年収
945万円

電気・ガス業内 4位/28社

平均年齢
42.5歳

電気・ガス業内 12位/28社

平均勤続
19.0年

電気・ガス業内 11位/28社

女性管理職
2.8%

電気・ガス業内 18位/23社

男性育休
100.0%

電気・ガス業内 7位/20社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

要するに

1951年設立の大手電力企業で、名古屋市に本社を置いています

主力事業・セグメント

- ・Miraiz 85.0%
- ・Powergrid 12.2%
- ・JERA 2.8%

強み・特徴（公開データから）

- ・連結売上高3.55兆円の大企業
- ・平均勤続19.0年と定着率が高い
- ・東証プライム市場上場

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース一言

参考:【中部電力ミライズ】「for 保存食ローリングストックプラン

